

資料3

平成29年11月30日

平成29年度第1回学校関係者評価を踏まえた課題への取組み・改善の進め方

標記について、平成29年10月の教職員会議において検討し、以下の方向で取組み及び改善を進めることを確認した。

- 1 学校の理念、教育目標
今井佳江前校長の下、方向性を持った介護福祉士養成を継続している。
- 2 平成29年度の重点目標と達成計画
介護福祉士国家試験取得のための個別指導にも力を入れてきた。

3 評価項目別取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
●障がい者の生活支援の学び改善が計画されているが、具体的な取組み方法等について	○イベント(子ども大学よしかわ)の開催に伴い、埼玉県ボッチャ協会とのチャンネルができたので、障がい者スポーツ等の支援等を切り口に取り組んでいく。 ○埼玉県立の特別支援学校とも連携して学ぶ計画が立ち上げられそうである。今後、企画実現に向けて取り組んでいく。 ○昨年に続いて本校文化祭「吉福祭」に参加した「吉川フレンドパーク」と連携していけそうである。

<p>●入学生確保の観点からも、SNSを利用した広報活動は特に若い世代（高校生）にはとても効果的で、まず学校を知ってもらうことが大切である。また在校生の表情がとても明るく、今後も学生指導と学生支援に力を注いでいてもらいたい。</p>	<p>○11月までで高校生新卒者の入学希望が7名（うち指定校4名）、留学生の入学希望は4名である。 ○いくつかの高校、若者支援のNPOと共催で介護について知る出前授業や施設の見学を実施、あるいは実施の運びである。 ○学校の取り組みをSNS等で発信している。（103回）</p>
<p>●幅広い年齢層の学生を受け入れているが、学生への個別指導について、特に工夫していることや取り組み方などはどうしているのか。また、介護福祉士養成校への入学者減（特に若い世代）が問題になっているが、吉川福祉の学生募集への取り組み方法について。</p>	<p>○高校生新卒者の入学希望が7名（うち指定校4名）、留学生の入学希望は4名である。大変意欲の高い素晴らしい資質の生徒が入学してくる。学校としても十分に育てていく体制を整えていく。 ○のべ200以上の学校を訪問することができた。 ○いくつかの高校、若者支援のNPOと共催で介護について知る出前授業や施設の見学を実施、あるいは実施の運びである。</p>
<p>●介護福祉士の「社会的地位」を上げていかないと、介護職の成り手が増えない。介護現場によっては、介護福祉士取得者もヘルパー資格取得者（初任者研修修了者および実務者研修修了者）も仕事ぶりがあまり変わらない。</p>	<p>○本校としても介護福祉士の「社会的地位」向上に資する何らかの取り組みをと考えているものの、実効的手段がないところである。 ○「吉川市民まつり」、「子ども大学よしかわ」等に参加することで、本校の知名度アップ、介護福祉士の理解を図っている。</p>
<p>●外国人留学生の受け入れについて、介護福祉士養成校側の考え方と福祉施設側の考え方についての相違点など。</p>	<p>○三郷市の国際交流協会との連携を模索している。放課後等にサポートのための教室が開けるように調整していく。</p>

基準2 学校運営
特になし

基準3 教育活動
特になし

基準4 学習成果
特になし

基準5 学生支援
特になし

基準6 教育環境
特になし

基準7 学生の募集と受け入れ
特になし

基準8 財務
特になし

基準9 法令等の順守
特になし

基準10 社会貢献・地域貢献
特になし

全般に関する意見

学校関係者評価委員会での意見・課題	意見・課題への取組み及び改善の進め方
<p>●介護福祉士国家試験の義務化に伴い、国家試験対策に重点を置いた授業運営も当然必要になってくるが、介護福祉士養成校を卒業後、現場で役に立つスキルやコミュニケーション能力などを養う教育にも力を注いでいただきたい。</p>	<p>○本校文化祭「吉福祭」の開催も2回目を迎え、行事のなかで接遇やコミュニケーションについて実践的に学ぶ機会となっている。</p>